



事前研修(7/7) 第4回事前研修

毎日新聞社 科学部池田記者による講演 ～「震災報道など」～  
舞西新聞大阪支社の科学部デスク 池田さんより、震災報道や、取材にあたっての記者の心得、人に伝えるための心構えなどを学ぶことができました。  
お忙しい中、ありがとうございました。



池田記者の講義



実際の紙面から解説

生徒たちの振り返り・感想

1年 伏原

実際に目で見てきた人の話には説得力があった。今回聞いた話はこれまで見てきた情報の発信の裏側だったので、興味深かった。当初は東日本大震災がこれほどの大災害だったとは誰も予想していなかったのだろうとおもった。

これまで私が注目してきたのは被災者やボランティアの方々の視点からみた東日本大震災だったから、きっと情報や考え方に偏りが生じていたと思う。今回は新聞記者の方の視点から東日本大震災を見ることができて、当時、被災者ではなかった人々の視点についても考えたからこれまでよりも視野を広くすることができた。そうするとこれまで考えていたのとは違う姿の東日本大震災を知れてこれまでよりも大震災への恐さが増した。今後起きるとされている南海トラフ巨大地震についても、きっと今までの予想を遥かに超えるものになると考えられるから自分事として考えていかなければならないと思った。

2年 小島

毎日新聞は、とても有名な新聞の一つなので、その本社から来てくださった方に直接伺うことができずぐくいい経験ができたなと思いました。私は、今日のお話を伺って、直接被災した方たちに会って経験を聞くことで今まで伝えられてきていた話の真実味であったり、事実を体感できるのではないかなと思いました。今日のお話で私の印象に一番に残ったのは、取材を行うときは相手の方との間に信頼関係を築き上げるということでした。短時間の取材であっても、信頼関係を築き上げなければ相手の準備ができていなかったりと、失礼な行いになってしまうことがあると分かったので、宿泊先でも質問したいことはたくさん聞けるようにしたいけど、できるだけ失礼の無いように心がけたいなと思いました。また、新聞記者についても初めて知ることが多く、新聞記者は臨機応変に対応する力が必要だと思いました。あまり興味がなかった職業であったのですが、様々な場所へ赴き、沢山の人と関わる職業というのが自分の世界を広げてくれそうだなと興味を持つことができました。今日、貴重なお話を聞ける機会があって東北プロジェクトがもっと楽しみにになりました。